

Tokyo Kasei Press

学校法人渡辺学園 広報誌 なでしこ

VOL.
102
2024.10

02 全学共通教育科目 2025年4月スタート



14 04
緑苑祭開催板橋(10月26日・27日)・狭山(27日)
140周年記念館2026年板橋キャンパスに完成予定

人の一生を支える学びと仕事がある

 東京家政大学
TOKYO KASEI UNIVERSITY

東京家政大学の学びの中核 = 自主自律、愛情・勤勉・聡明

02

field of learning

6つの学びの領域

全学共通教育科目は、学生全員に身につけてほしい知識と技能を学ぶ科目群で、学びの中核となるヒューマニティー領域を中心に、6つの領域から構成されます。少人数のアクティブラーニング形式の授業など、主体的な学びの場も用意しています。全学共通教育科目での学びを礎として、ひとりの大人の女性として社会へ羽ばたいていきましょう。



ヒューマニティー

自主自律の精神を核として、現代社会をしなやかに生きる人間力を育む

コア科目

建学の精神である「自主自律」を実践し、大学での学びや自身の生き方・働き方について考える力を育む。

スタートアップセミナー自主自律

基礎ゼミナール

キャリアデザイン



スタートアップセミナー 自主自律

ダイバーシティ&インクルージョン

多様なものを受け入れ尊重し、共生社会を創る

[習得する力]

- 多様な存在・価値観を包括して活かす力
- 互いを尊重し共生社会を実現する力
- 社会や人間関係の理解
- 自分のバイアスに気づき克服する力



[KEY WORDS]

- 共生社会
- ジェンダー
- 障がい



サステナビリティ

持続可能な未来社会を創造する

[習得する力]

- 自然環境問題を理解する力
- 食品や衣類の破棄等の社会的課題を理解する力
- 持続可能な社会のために必要な課題を発見し、解決のために行動する力



[KEY WORDS]

- 環境問題
- 資源ロス
- エネルギー

グローバル・コミュニケーション

多文化共生の場面で人々とかかわる

[習得する力]

- 多様な言語でコミュニケーションする力
- 多様な文化を理解・尊重し、違いを楽しめる力
- 多文化社会で共生する力



[KEY WORDS]

- 語学
- 文化
- コミュニケーション

データサイエンス×デザイン

データサイエンスの力で社会課題に取り組み、デザイン思考を活用しながら新しい価値を創造する

[習得する力]

- データの質を見極め、紡ぎ、活用する力
- データから社会課題を発見する力
- 課題解決の方法を考える力
- デジタルを使ってアイデアを形にする力



[KEY WORDS]

- データサイエンス
- 情報
- 統計



東京家政大学 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」

ヘルス&ウェルビーイング

人々の健康とウェルビーイングを実現する

[習得する力]

- 心身の健康の仕組みを理解する力
- 自他の健康とウェルビーイングを実現するために行動する力



[KEY WORDS]

- スポーツ
- 栄養
- 心理

01

What is it?

全学共通教育科目とは?

全学共通教育科目は、東京家政大学の全学生が1年次から履修する科目群のことです。全学共通教育科目と専門教育科目の学びを融合させ、一人ひとりの幸せと持続可能な社会をデザインできる人を育成します。学部・学科の枠を超えたクラス構成で、他学部・他学科の学生との交流が生まれるのも魅力のひとつです。



動画でわかる! 全学共通教育科目 HPで順次公開予定!

- 全学共通教育科目とは?
- スタートアップセミナー自主自律 SA(スチューデント・アシスタント)の声
- データサイエンス基礎とは?
- 人間と学びE しなやかな心と体
- 国際関係論とは?



「学生ファーストで環境整備」140周年記念館

地鎮祭が執り行われました

140周年記念館(A棟)の地鎮祭が令和6(2024)年6月に執り行われ、清水建設株式会社 宮本洋一 代表取締役会長、株式会社石本建築事務所 長尾昌高 代表取締役社長、学校法人渡辺学園 菅谷定彦 理事長をはじめ、各関係者が出席しました。



左から宮本代表取締役会長、菅谷理事長、長尾代表取締役社長

施設概要 イマジネーションを多様に刺激しアクティブな学修と交流を促進する場として、以下の施設が入ります。

A棟 1F~3F・4F

博物館常設展示室・企画展示室・博物館関連施設・実習室など

博物館活動をさらに充実させるため、展示室などの主要施設を拡充・強化。展示による公開に加え、デジタルコンテンツの作成・発信を推進して、重要有形民俗文化財「渡辺学園 裁縫雛形コレクション」をはじめとする豊富な収蔵品の魅力を発信します。



東京家政大学博物館

A棟 5F 多目的演習室フロア

アクティブな学びと交流、学生ファーストの学習スペース。学生自身が取り組む様々な社会課題解決プロジェクトアシストするデジタルクリエイションフロア

A棟 6F デジタルクリエイションフロア

抽象的でわかりにくいデジタルの世界を、実際に触って見えるようにして学べます。レーザーカッターや3Dプリンターなどの機材を整備して、リアルな世界とバーチャルな世界を学生が融合できるようにします。さらにさまざまな学科の学びや、社会課題解決のための学生の自主活動に活かせる、DX時代のものづくり力を養成します。

A棟 7F デジタルクリエイションフロア・IT支援室

本学の学生や教員が、気軽にちょっと進んだ動画や音楽を制作して発信できるようにするための収録スタジオと編集設備を整備。授業のための動画作りや、ダンスや音楽のサークル活動の発表など、デジタル技術をつかって表現力を向上させることができます。8階で推進するDX(デジタルトランスフォーメーション)についての研究・実践の場との連携機能を持たせます。



DX推進共同ラボ・ラーニング・commons

A棟 8F XR対応教室・共創スペース・DX対応教室

ARやVRといった最新の映像技術を取り入れた未来の学びの世界を体感できるスペースのあるフロア。狭山と板橋の合同授業も可能で、キャンパスを超えた学生間交流もできます。新たなデジタルな学びの世界を体感できます。ハードだけでなく、教職員や学生との活動への支援も視野に入れていきます。

デジタルに強い学生を組織・育成し、デジタルに関することについて自主的に学びたい学生へのアシストを行います。他の人に教えることによる学修の向上も目指します。

B棟 1F オープンスペース

開放的な空間のオープンスペースを学生のための広場として設置

2026年 東京家政大学 板橋キャンパスに完成予定

渡辺学園創立140周年記念館は、社会課題の解決につながるデジタル時代の学びと創造性の体現として、学生ファーストで環境を整備し、2026年、板橋キャンパスに完成予定となります。



HP

新校舎コンセプト

伝統・現在・未来 3つの結節点となる140周年記念館

140周年記念館は学園の伝統と未来、そして現在を結ぶ結節点です。本記念館は、現在の学生の集いと出会いの場「ドームの大屋根テラス」、歴史と伝統を担う「博物館」、未来への新たな学びと研究の姿をつくる「DX強化の拠点」という3つの要素からなり、それぞれに相応しい姿を与えています。それら3つの要素が等価に、手をとりあい、一体となるように全体像がつけられています。

キャンパスの新しいハブとしての140周年記念館

十条門は公共交通機関からのアクセスが良く学園の顔、交通の結節点となっていく大切な場所です。今回の計画を、このキャンパスの新しいコミュニケーションの中心、「ハブ」となるべきものとしてとらえました。

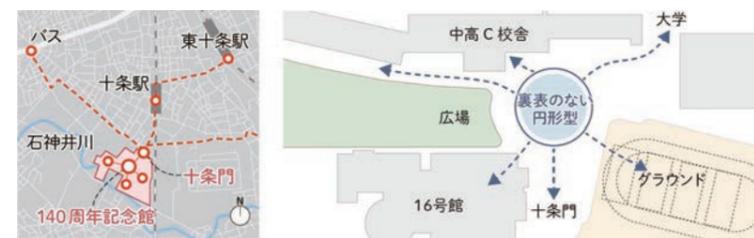
出会いと交流の結節点

本計画地は中・高・大学、学外など、十条門から訪れるすべての方を迎え入れます。そして、それぞれの場所への中継点として、動線が交わる大切な場所です。この動線がこの場所の「コミュニケーションのハブ」としてのポテンシャルです。動線が交わるハブの中は、憩いや、出会い、発見の場があり、そこで人と人、人とモノ、人とコト、人と学び、などの、交流の結節点となります。

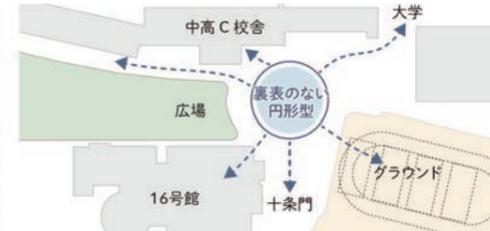


東京家政大学 140周年記念館

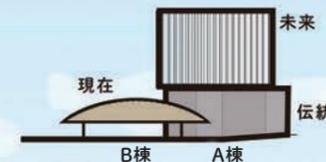
十条門



バス 東十条駅 十条駅 石神井川 十条門 140周年記念館



中高C校舎 大学 広場 16号館 十條門 グラウンド



現在、集う・出会う：大屋根テラス (B棟)

140周年記念館を訪れたすべての方がドームの下に会い、コミュニケーションのハブとなります。ひとつつながりのおおらかであたたかみのある空間は、リラックスしたオープンな場をつくりだします。ドームは、イベントスペース、待ち合わせ、憩いなどに活用される場です。140周年記念館のシンボルとなり、コミュニケーションを触発する、集いと出会いの場です。

140周年のひろば

豊かな緑・伸びやかに広がる広々とした多様な居場所をつくる階段テラス。気持ちの良い憩いの場をつくりだします。

太陽光パネル

- XR・DC対応 共創スペース
- DX推進共同ラボ
- ラーニング commons
- デジタルクリエイション IT支援
- デジタルクリエイション
- 多目的演習
- 博物館事務・実習室

未来への新たな学びの姿をつくる (A棟 5~8F)

イマジネーションを多様に刺激しアクティブな学修と交流を促進する場。ジグザグの外壁は日射を制御しながら眺望を確保する環境配慮型の外観であると共に内部側には学生の居場所をつくりだします。イノベティブで開かれた創造的な空気の元、新しいアイデアやアプローチを試すことを奨励する、ラボのような活動的でラフなインテリアです。オープンでフラットな空間、各階をつなぐコミュニケーション階段などにより、協力や協働、オープンなコミュニケーションを刺激します。

歴史と伝統を担う博物館 (A棟 1~3・4F)

学園の歴史と伝統を見据え・発信する場です。外観は敷地形状から導かれた多角形の外壁を特徴としています。また、内観では素材感を大切にすることで、時代に左右されない重厚な存在感を目指します。学園の歴史資料を保護し、次世代に繋げることを使命としています。学園の歴史を紹介する常設展示室や、様々な展示が可能なコレクション展示室、企画展示室などが含まれています。



140周年のひろば

大屋根テラス

B棟

A棟

2023年度 就職決定率



キャリア支援の詳細はHPをご確認ください。

※就職決定率 = 就職決定者 / 就職希望者

2024年 実就職率



女子大全国3位!

卒業生数1,000人以上の全国女子大学で3位にランクインし上位を維持

※実就職率 = 就職者数 ÷ (卒業生(修了者)数 - 大学院進学者数) × 100
※「2024年実就職率ランキング」(大学通信調べ、7月23日発表)

就職内定!

セイコーエプソン株式会社

人文学部 英語コミュニケーション学科 A.K.さん

海外展開が広い点と事業内容に惹かれた点が大きな理由です。現在、O・A 機器業界はペーパーレス化により、競争が激化しています。この影響により、他社は収益の軸であるプリンターから他の事業へと展開を進めています。しかし、セイコーエプソン株式会社は、ペーパーレス化を上手く利用して他にはない新境地へと足を進めています。技術力が高い会社ならではの高度な対応力に強く惹かれました。将来、日本の優れた技術を世界中に提供し、人々の生活を豊かにしたい思いがある



4年生の夏はイタリアでボランティア

就職先企業として、セイコーエプソン株式会社に決めた理由

日本の優れた技術を世界中に提供し、人々の生活を豊かに

英語のコミュニケーション力を伸ばすために人文学部英語コミュニケーション学科に入学しました。高校3年生のとき、他大学のオープンキャンパスで、異文化の魅力を知り、大学では異文化理解について学びたいと強く思いました。ただ、異文化を学ぶ方法として、インターネットや文献からではなく、実際に海外に行き、地元の人々との交流を通して異文化を学びたい思いがありました。そこで必要となるのは、世界共通語である英語であり、中でもスピーキング力が必要となります。英語コミュニケーション学科では、英語のコミュニケーションに力を入れています。特にネイティブ教師による週4回の intensive English の授業に惹かれました。日本にいなから留学先のような環境で英語が学べる点は、希望していた他大学にはない本学の魅力であり、入学を決めた一番の理由です。



東京家政大学英語「コミュニケーション学科」に入学した理由
日本にいなから留学先のような環境で英語が学べる魅力

就職活動は就職との兼ね合いもあり、非常に大変でした。しかし、それが逆に後押しになったようにも感じています。好んで就職活動をする人はあまりいないのではないのでしょうか。中には就職活動に対して拒否反応が出る人もいます。実は、私もその一人でした。しかし、立ち止まっても状況は変わりません。私は、就職アドバイザーに毎週のように相談していました。こうすることで、「次アドバイザーの方としっかり面接できるように業界研究、企業研究、面接練習を今しなければ!」という状態になります。常に締め切りを設けたことで、メリハリのある就職活動を行うことができました。ぜひ参考にしてみてください。先輩として、みなさんの就職活動を心より応援しています!



アメリカの高校生に日本語の授業

これから就職活動に向けて動き出す就職アドバイザーに相談してメリハリある就職活動

これからの就職活動に向けて動き出す先輩たちへアドバイス

企業研究には特に力を入れて取り組みました。私にとって仕事とは、人生をより充実したものにするための要素の一つです。そして、私が充実感を感じる瞬間は、やりたいことをしている瞬間です。大学4年間を通し、やりたいことをしているとき、自分がとても生き生きと生活している実感が強くあり、社会人になってこの感覚を大切にしたいと思えました。充実した社会人生活を送るため、企業研究は徹底的に行いました。

就職活動において、特に力を入れたこと
徹底的な企業研究

就職内定!

株式会社ニチレイフレッシュ

家政学部栄養学科 管理栄養士専攻 C.I.さん



東京家政大学栄養学科に入学した理由
管理栄養士国家試験合格率高さや、就職活動の手厚いサポートに魅力

高校生の時から病院の管理栄養士になりたいという夢があり、管理栄養士の資格が取れる大学を探していました。さまざまな大学のオープンキャンパスに参加する中で、管理栄養士国家試験合格率の高さや、就職活動においての手厚いサポートに魅力を感じ入学を決めました。大学に入学し、さまざまな食に関わる分野の授業を受ける中で、病気の人ではなく、健康な人が健康で居続けることができるように食からサポートできる仕事がしたいと思うようになり、病院の管理栄養士ではなく、食品業界の会社に就職したいという新たな夢ができました。大学入学当初の夢とは変わってしまいましたが、それも臨床分野以外のさまざまな授業を受けたことがきっかけです。結果として管理栄養士に必要な知識は病院以外でも活かせるという、視野を広げた就職活動に繋がったと感じています。

就職先企業として、株式会社ニチレイフレッシュに決めた理由

商社とメーカー両方の機能を持ち、若手のうちから責任ある仕事を任せてもらえる

前述の通り、私は健康な人が健康で居続けることの幸せを食から支えていきたいという目標があったため、食品企業を志望していました。さまざまな食品企業がある中で、ニチレイフレッシュは、「亜麻仁の恵み」などの健康価値商品に力を入れており、そのような商品の営業に携わりたいと考えていたため、エントリーしました。また、ニチレイフレッシュは商社とメーカー両方の機能を持っていることに加え、採用人数が少ない少数経営体制であるため、若手のうちから責任ある仕事を任せてもらえるという部分に魅力を感じました。「ニチレイフレッシュに絶対に入社したい!」と思った実際の決め手は、説明会や面接を通じて関わってくださった人事や役員の方々が気さくで優しい人柄の部分が大きかったと思います。

就職活動期間中は趣味や自分の楽しみを制限されたり、面接を通過できなかったり、周りの友だちと比べて焦ってしまったり、辛いことがたくさんあります。しかし、自分の長さを理解してくれる企業は必ずあるので、ありのままの自分で悔いなく頑張ってください!



商品開発インターンシップの宣伝でラジオに出演したとき

就職活動において、特に力を入れたこと
自分の強みを分析することとこだわりを持つこと
1つ目は自己分析です。自己分析は自己PRの時だけでなく、志望動機や具体的に入社してから何をしたいか聞かれたときに役立つと感じました。企業のHPに載っている内容や説明会などで得た情報と、自分の強みを組み合わせることができるようにしました。対人関係や努力の方法、精神的な部分など、さまざまな視点での自分の強みを分析できたことが良かったのかなと感じています。
2つ目はESです。企業側は何千人もの学生のESを読むため、いかにキャッチーで印象に残るESを書けるかが重要であると考えていたので、一文一文こだわって書きました。非常に時間がかかり非効率ではありましたが、印象的な文にすることで面接に進んだ際にESに触れてくれる面接官も多く、自分のターンにもっていきやすかったと感じるので、こだわりを持つことが大切であると思いました。



友人と一緒に国家試験対策授業の代演マップ課題に取り組んだとき

初等教育学科「和塾」^{なごみじゅく} 担当：若井広太郎先生 学生が近隣の小学生を対象に学習指導「和塾」を運営

～学生の学びの場と地域貢献～

児童学部初等教育学科では、地域貢献活動の一環として2013年度から、近隣の小学生を対象に学習指導を行う「和塾」を運営しています。和塾はいわゆる学習塾とは少し異なり、児童一人ひとりの学習の取り組みに応じて、学生が指導・支援をします。学生は、各回の学習支援のほか、工作やゲームなど季節のお楽しみ会を企画・運営します。コロナ禍の影響で2020年度より中止していましたが昨年3年ぶりに再開しました。



今年度は16名の学生ボランティアが参加し、毎週水曜日に小学校4年生・5年生の児童10名に対して、国語や算数を中心に学習指導を行っています。学生は和塾での実践を通じて、児童への対応や言葉かけなど、どの児童にもわかりやすく丁寧な指導法を学びます。また同塾での経験は、小学校の教員を目指す学生にとって教員像の形成にも繋がります。今後も初等教育学科では、未来を拓く小学校教育のプロフェッショナルを育てていきます。



教育福祉学科 宮地孝宜ゼミ「こども食堂」

学生が地域の小・中学生とその保護者を対象に「こども食堂」を開催中

～交流の場を通じてコミュニケーションの輪を広げる～

人文学部教育福祉学科宮地孝宜ゼミの学生を中心とした本学の学生ボランティアは、毎月第4木曜日15:30～19:30に板橋区金沢自治会とともに、金沢自治会地域在住の小学生・中学生とその保護者を対象に「金沢自治会 こども食堂ひだまりキッチン」を開催しています。これまでに牛丼・チキンカレー・三色丼など食事の提供や、参加した子どもの学習支援やトランプなどを用いた遊びも行っており、お腹も心も満たされる「こども食堂」を展開しています。

「こども食堂」という地域の交流の場を通じて、コミュニケーションの輪を広げていき、地域の更なる交流と活性化を図っていきます。



日時：毎月第4木曜日 15:30～19:30

場所：板橋区板橋3丁目44-5 金沢自治会館

対象：金沢自治会地域在住の小学生・中学生とその保護者

定員：30名 ※先着順

申込：LINE公式アカウントにて申込み方法をお知らせします。友だち追加をお願いします。

参加費：子ども 100円、大人 300円



LINE (子ども食堂)



Instagram (宮地ゼミ)

北区との協働事業「魅力発信プロジェクト」 東京家政大学の学生と北区若手職員の協働活動

～若い世代の感性を活かし、北区の魅力を発信～

本学は平成23(2011)年に東京都北区と包括連携協定を締結し、学生が北区の若手職員と協働して区の魅力を発信する活動を行っています。

今年度は6月より学生・職員の目線や発想力を活かした「魅力発信プロジェクト」を行っており、7月に行われた第4回目の活動では、区内の街歩きを実施しました。3グループに分かれ、担当地域を歩きながら魅力的なスポットを取材しました。今後も12月まで会議や取材を重ね、完成したPR動画は、北区コミュニティバス及び北区公式 SNSなどで放映する予定です。



自然ふれあい情報館で
 自然環境を学ぶ様子



グループの様子 (清水坂公園)

板橋区との協働事業「いたばし未来子ども大学」

環境共生学科 片田真一先生 栄養学科 鍋谷浩志先生

～子どもたちの学習意欲の向上や将来の夢を育むきっかけを提供～

3日間を通して東京家政大学・大東文化大学の学生が子どもたちの活動をサポート

板橋区教育委員会との協働事業「いたばし未来子ども大学」(主催：板橋区教育委員会事務局 協力：東京家政大学、大東文化大学)を7月27日・31日・8月3日の3日間実施し、参加した小学4～6年生30名の子どもたちが夏休みに新たな学びに触れる機会を提供しました。

いたばし未来子ども大学は、大学が持つ教育力や幅広い分野での研究などを基盤とした取り組みで、7月31日に本学で開講された講義①「ヒトは生き物に名前をつける。『生き物の“名前”採集プロジェクト』(環境共生学科 片田真一先生)では、自然豊かなキャンパスの中でさまざまな生き物を探し、実際に見て触れて観察することで、生き物を身近に感じる体験をしました。また図鑑や標本で捕まえた生き物の名前を調べ、子どもたちはより理解を深めることができました。

講義②「食べることで環境問題 一粉けることの役わりー」

(栄養学科 鍋谷浩志先生)では、食品加工学実習室で実際に豆腐作りを見学しながら、日本の大事な食文化「大豆」について学びました。また、ジュースが凍るときにできる氷の結晶は純粋な水分子から成っていて、凍っていない部分は濃くなるという凍結濃縮法の原理の説明を受けるとともに、チューブ型アイスを食べながら、はじめと終わりでチューブから出てくるジュースの濃さが違うことを舌で確認し、凍結を利用した水の分離の現象を体験しました。講義の最後には将来の自分へのプレゼントとして思い思いのものを缶に入れ、専用の機械を用いて缶詰作り体験も行いました。

いたばし未来子ども大学を通して子どもたちは、楽しく学びながら環境問題について身近に感じる体験を得ました。本学では今後も地域との連携を図り、さまざまな取り組みを推進していきます。



オーストラリア ウェスタンシドニー大学栄養&英語研修

令和6(2024)年2月24日~3月9日 | 栄養学科 4年 S.M.さん

新たな一歩を踏み出すきっかけ

ウェスタンシドニー大学栄養&英語研修では、英語と食や栄養、SDGsに関することまで幅広く学ぶことができました。現地では語学学校に通い、他の留学生たちと一緒に英語の授業を受けました。授業は主にディスカッションが中心で、母国語ではない英語で自分の考えを理由も明確に意見を出し合っている学生たちを見てとても刺激を受けました。彼らにとってはそれが当たり前で、授業は盛り上がりとても楽しかったです。また、ウェスタンシドニー大学のいくつかのキャンパスを訪れて、食と栄養に関

して講義を受け、施設の見学も行いました。ここでしか学べない内容や見学を通して海外で行われている授業や大学の雰囲気、学生たちの熱量も感じることができました。現地での生活は見るものすべてが新しく、毎日発見がありました。特にホストファミリーにはいろいろな経験をさせていただきました。2週間で一番印象的な学生になる!という気持ちで学びに貪欲に積極的に過ごし、自分の新しい一面も知りました。オーストラリアへの思い入れが強くなり、新たな一歩を踏み出すきっかけにもなった2週間でした。



大学のキャンパス内にあった大きなチェスのセット



シドニーの Central 駅



研修の修了式にて参加者のクラスメイトと記念写真



Brickpit Ring Walk 通っていた語学学校のすぐ近くにある都市自然公園

令和6(2024)年10月~12月 イベント情報 どなたでも参加可能!

板橋キャンパス

★ English Lounge ハロウィンイベント (10月)

10月24日(木)にグローバル教育センターでハロウィンイベントを開催します。外国人講師と各国のハロウィン事情について話したり、ゲームをしたり、楽しく英語に親しめるイベントです。参加費は無料でどなたでも参加可能ですので、皆さんの参加をお待ちしています。



★ English Lounge イヤーエンドパーティー (12月)

12月5日(木)に1年間英語学習サポートを活用してくれた皆さんとイヤーエンドパーティーを開催します。English Loungeの先生たちから海外の習慣や文化を聞いたり、ゲームやクイズをしたり、年末最後に盛り上がりましょう! 後期からも英語学習サポート(English Lounge やオンライン英会話)に登録可能ですので、日頃の英語学習にも活用してください。



狭山キャンパス

★ English Lounge グループレッスン

外国人講師による対面グループレッスンを毎月1回(10月~12月)実施します。英語初心者でも大丈夫! 日常英会話レッスンはもちろん、ボードゲームなどのアクティビティレッスンを通して楽しく英語を学べます。学科・学年を問わず参加できますので、皆さんお気軽にご参加ください。



イベント詳細は Instagram をご覧ください!

★今年度もアメリカの Vanderbilt 大学との Language Exchange を実施します。詳細はグローバル教育センターの manaba をご覧ください。

東京家政大学グローバル教育センター



板橋キャンパス 16号館 2階
開室時間: 平日 9時から17時
土曜日 9時から12時
問合せ: 03-3961-1861

海外研修 現地からの声

アイルランド ダブリンシティ大学春期語学研修

令和6(2024)年2月24日~8月18日 | 英語コミュニケーション学科 3年 A.M.さん

私のアイルランド留生活

1. アイルランドってどんな場所? まさに映画の中のような町

私はイギリスのお隣の国、アイルランドに今年の2月から約6か月間留学をしていました。首都はダブリン、約120万人の人口があります。ダブリンの中心街では、観光客が盛んで、馬車や沢山の観光客を日々目にします。特に有名なものはアイリッシュパブで町の至る所にパブが乱立しています。ヨーロッパの古い町並みがあちらこちらに残り、まさに映画の中のような雰囲気があります。郊外に出ると壮大な自然が沢山あり、有名なハイキングスポットです。



アイルランドのパブ

3. ホストファミリーとの生活は? 温かい家族で本当の娘のように過ごした

ホストファミリーと生活をし、ホストマザー、ホストファザー、ホストブラザーの3人と生活をしました。とても温かいご家族で本当の娘のように接していただき、何不自由なく過ごすことができました。ホストファミリーと生活している中で、文化の違いを見つけることが多々あります。例えば、生活をすることで何を軸にするのかであったり、日本との家族との接し方の違いまたは共通点であったり、日本では感じる事ができなかった新たな視点を見出す良いきっかけになりました。ここまで生活してきた中で、改めて考え直すことや社会的な問題だけでなく、自身の人生観まで変化するほどホストファミリーとの生活は大きな意味を成しました。



ホストファミリー

2. 語学学校で得たものは? 英語だけでなく異文化理解もできた

DCU (Dublin City University) 語学学校では、週5日午前中の4時間、授業が開かれています。授業内では基本的な英文法や会話練習、プレゼンテーションなど幅広く英語を学ぶことができます。クラスは多国籍で構成されていて、ロシア、韓国、日本、フランス、イタリアなど多文化であるため、英語だけでなく異文化理解も同時に深めることができました。授業後には、クラスメイトと共に勉強をしたり、談笑したりするなど、授業外でも日々刺激を得ました。



大学にて

4. 留学生活の中で一番変化したことは? 自分がどんな人間になりたいのかが見えてきた

留学している中で沢山の経験をしてきました。良いことも沢山ありましたが、悪いことも沢山ありました。良いことと言えば、自分が知らない世界でも認めてくれる人がいて、自分の価値を自分が知っている範囲で決める必要はないのだなと気づきました。悪いことと言うならば、他人の価値を見た目や偏見で判断することの卑しさ、醜さを感じ、変化の必要性を見出しました。良いことも悪いことも含めて、自分はどんな人間になりたいか、経験からどんなことをしたいかが明確になり、人生に対する取り組み方が変化したと言えます。痛みを感じたからこそ、人に対する接し方が変化し、より客観的にそして誠実に物事を見極める力がついたとも言えます。



グラフトンストリート

英語コミュニケーション学科の新カリキュラム始動！ Global Study Program

英語コミュニケーション学科では、新しいカリキュラムが昨年度始まり、今年度より実習・研修科目「Global Study Program」が動き出しました。実際に学外に出たり、学外とオンラインで繋がりながら英語を使い、グローバルな体験ができる10を超えるプログラムが設置され、学生はそこから自由に選択することができます。

Global Study Programの一例

- 6カ月～1年間の留学
- Teaching English to Younger Learners
- 西アフリカの小学生と絵本作成
- 海外インターンシップ(空港、孤児院)
- ANA 総合研究所提供のプログラム
- ANA エアラインスクール学内講座

ピックアップ

教育連携協定を締結している ANA ビジネスソリューション株式会社と開催。今年度より Global Study Program 内の1つとして正規授業で実施されます。4月に行われた講座説明会では、現役の客室乗務員である講師が登場し、受講を希望する学生のみなさんは真剣そのものでした。



ANAエアラインスクール学内講座説明会の様子

東京家政大学 × ANA 航空業界を目指す学生必見！ ANA総研による授業 ●全学科対象

人材育成などを担う株式会社 ANA 総合研究所による授業が履修できます。航空業界への理解をより一層深め、専門分野で役立つ力を養います。

国際航空業概論を取材！

第5回目の授業内容は、予約部門と営業部門の業務内容についてグループワークを行い「1日2万件以上の問合せが入ることもある総合コンタクトセンターで求められる役割とは？」「IT技術の進化など時代に合わせて変化する中、機械やAIではなく人にしかできないことは？」をテーマに、顧客とのコミュニケーションについて活発な話し合いが行われました。販売・営業では、観光誘致における地方創生事業との繋がりや他、色々な発想で考える企画力の重要性を学んでいました。



産学連携事業

ヒューマンライフ
支援センター



マリフーズ株式会社との連携

「海鮮丼総選挙・舞台裏」

7月に「推し海鮮丼総選挙」を開催しました。多数のご参加ありがとうございました。総数で2,700票以上が投げられ、学内に2か所設置した投票所では学生の盛り上がる声が聞かれました。

エントリーした学生10名のオリジナル海鮮丼は、マリフーズ株式会社本社で2回に渡る試作ブラッシュアップを経て完成した「努力の賜物」です。商品開発の最前線で活躍するマリフーズ社員さまと、味や食感、見た目のみならず、売価や値入率、スーパーでの調理オペレーションを考えながらのブラッシュアップは、とても貴重な経験になりました。



試作ブラッシュアップ

学内での投票の様子

「商品開発「+ IPPIN」」

8月からプロジェクト第2弾として、海鮮を使った惣菜食品「+ IPPIN」の商品開発がスタートしました。説明会では市販商品の試食や商品開発に関する勉強会・ワークショップを行いました。今後はグループ単位でのディスカッションなどを行い、複数人での開発スタイルを学びながら進行していきます。



「+ IPPIN」商品開発説明会(8月)

昭和産業グループとの連携

「たまごのある暮らし・試作・検討会」

今年は「世界のジャンル別たまご料理」をテーマに、和・洋・中・その他合わせて54もの考案レシピの応募がありました。作りやすさ、新規性、見た目、創意工夫の3つの審査基準で8つのレシピが選定されました。昭和産業株式会社、昭和鶏卵株式会社、峯木真知子先生、土屋京子先生、内野美恵先生全面協力の下、7月の試作・検討会、9月の最終講評会を経てオリジナルレシピが完成しました。レシピは来年度、昭和鶏卵株式会社の鶏卵商品「たまごのある暮らし」のパッケージに掲載されて販売予定です。



試作・検討会(7月)

Unique Recipe ～学生アイデアレシピ～

ヒューマンライフ支援センターが行う、さまざまな産学連携事業の中で栄養学を学ぶ学生が考案したレシピを紹介します。



長南町のおいしさギョウ!!とパエリア



ほっこり豆乳スープ



サブインミー



HP



Instagram

第64回 緑苑祭

(板橋キャンパス)

参加団体一覧

サークル

- ◆アニメ・声優研究会 駄菓子販売・体験
- ◆絵本紙芝居サークル 体験・絵本の読み聞かせ
- ◆演劇部 発表
- ◆学生赤十字奉仕団 駄菓子販売
- ◆華道部草月流 展示
- ◆弓道部 体験
- ◆競技かるた同好会 駄菓子販売
- ◆競技ダンス部 発表・ワッフル販売
- ◆グラフィックデザインサークル シール、ポストカード、その他個人制作物展示・販売
- ◆軽音楽部 発表・演奏
- ◆剣道部 鉄平汁、お団子販売
- ◆茶道部 体験
- ◆自然研究会 コンソメスープ、味噌汁販売
- ◆児童音楽研究会 発表
- ◆写真部 チェキスリーブ・トレカケース展示
- ◆ジャズ研究会 発表・お菓子、飲み物販売
- ◆手芸同好会 ハンドメイド雑貨販売
- ◆シュナイツスキークラブ ベビーカステラ販売
- ◆書道同好会 発表

- ◆吹奏楽部 演奏
- ◆スカッシュラケット部 フルーツスカッシュ販売
- ◆ストリートダンスサークル 発表
- ◆箏曲部 演奏・お汁粉、味噌田楽、味噌団子販売
- ◆卓球部 フランクフルト販売
- ◆ダンス部 発表
- ◆チアダンスチーム Quartz 発表
- ◆チアリーディング部 発表
- ◆パンサー パン販売
- ◆フラダンス～PuaLani～ 発表・南国ジュース販売
- ◆Frair 写真展示・販売
- ◆文芸部 部誌(本)販売
- ◆ボードゲーム 展示・体験・うまい棒、ポンと出てくるフルーツ玉販売
- ◆ボラガール 展示・発表・山元町のいちごジャム、ホットドック、シャカシャカポテト販売
- ◆漫画研究会 展示・部誌、ポストカード、イラストボード販売
- ◆マンドリンクラブ 演奏・マフィン販売
- ◆ユースホステルクラブ チョコバナナ販売
- ◆ワンダーフォーゲル部 チュロス販売

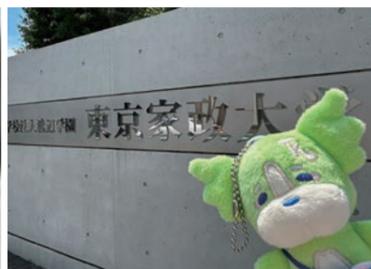


昨年の様子

東京家政大学「学生支援キャラクター りょっくん」のぬいぐるみキーホルダーが発売されます！



りょっくんぬいぐるみキーホルダー



《緑苑祭での特別価格》

900円

《大きさ》

高さ約11センチ
(ボールチェーン付き)

《販売場所》

緑苑祭(板橋キャンパス)16号館
「りょっくんストア」



開催日

2024年10月26日(土)・27日(日)
10:00～16:00

テーマ

はなえ
花笑み



昨年の様子



第64回 緑苑祭



X (旧Twitter)



Instagram

本部企画

- ◆カラオケ大会 学生たちが歌唱力を競う
- ◆ランキング 来場者による参加団体企画の人気投票
- ◆りょっくんストア りょっくんとオリジナルグッズ販売
- ◆謎解き 緑苑祭オリジナルの謎解きゲーム
- ◆スタンプラリー キャンパス内をめぐるスタンプラリー
- ◆キャンパスデザイン キャンパス内にフォトスポットや装飾を設置
- ◆狭山キャンパスコラボ企画 各キャンパスのキャラクターのイラストを使った塗り絵大会
- ◆芸能 俳優トークショー・お笑いライブ 観覧は家政大生のみ
- ◆オープニング・後夜祭 オープニング一般観覧可・後夜祭観覧は参加団体のみ
- ◆協賛出店：サントリー ドリンクを特別価格で販売

学科企画

- ◆児童学科 パペット等 展示・発表・演奏・販売・体験
- ◆初等教育学科 体験
- ◆服飾美術学科 EVE(2024) 発表
- ◆環境共生学科 体験
- ◆英語コミュニケーション学科 —EMUSE— 体験
- ◆心理カウンセリング学科 展示・発表
- ◆教育福祉学科 雑貨、小物、みそクッキー、カート缶飲料、パン販売・展示・体験
- ◆保育科 パペット等 展示・発表・演奏・販売・体験

有志・教職員団体

- ◆育児支援専攻1年Cクラス タピオカ販売
- ◆犬のあしあと 作品集、ポスターカード、ステッカー、アクリルスタンド、キーホルダー等 雑貨展示・販売
- ◆絵本カフェ結 絵本・ステッカー、和菓子、焼き菓子、日本茶販売
- ◆オーキーズ 繊維・毛糸を取り扱った作品展示・販売・体験
- ◆学生CRED ポップコーン販売
- ◆金工クラブ ハンドメイドアクセサリー展示・販売
- ◆化粧品研究会(後援:日本化粧品技術者会) 体験
- ◆ジャズ研OG会 演奏
- ◆食リンピック実行委員会(ヒューリップ) 展示・体験
- ◆精神保健福祉ゼミ パウンドケーキ、クッキー、コーヒー等飲み物販売
- ◆造形表現学科 陶芸ゼミ 陶器展示・販売
- ◆Library Mates 古本販売・体験
- ◆生活科学研究所 表彰式・講演会
- ◆造形OG & 教職員 アクセサリー類、器、オブジェ、ファブリック、ポストカード類展示・販売
- ◆東京家政大学 緑苑クラブ 長南町の物産、八ヶ岳野菜、冷凍焼き芋等販売
- ◆緑窓会 宝飾、衣料、アクセサリー、米、ソース等 展示・販売・バザー

第64回 緑苑祭

(板橋キャンパス)

大学入試相談会

10月以降の入試予定はp21に掲載

開催日 10月26日(土)・27日(日) 11:00～15:00

申し込み制

板橋キャンパスで開催される緑苑祭と同時開催で入試個別相談会を実施します。アドミッションセンターの専任スタッフが、入試制度の説明や一人ひとりにあった入試のアドバイスをします。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

※緑苑祭の開催時間と入試相談会の開催時間が異なりますのでご注意ください。詳細は必ず本学ホームページをご確認ください。



生活科学研究所主催 第41回レクチャーフォーラム

スパイス&ハーブを使いこなそう! ~料理に「香り」をプラスしてもっと楽しく~



「スパイスやハーブ料理を作るのは難しい」「カレーがおいしく作れない」そんなお悩みはありませんか? 私たちの食卓に自然とあわせを届けてくれるスパイス&ハーブの使いこなす術を、「香り」の楽しみ方を中心にご紹介します。

【講師】
エスピー食品株式会社
スパイス&ハーブマスター
遠藤由美氏

入場無料!!

開催日 10月26日(土)
13:30 開演

場所 120-3C 講義室 (120周年記念館3階)

来場特典

- ・S&Bスティックススパイス
- ・ピンクリボンカレンダーをプレゼント!!

予約はこちら →



学科シンポジウム (板橋キャンパス)

- 10月26日(土)
- ・服飾美術学科 「デザインと起業」 共催：緑衣会
 - ・環境共生学科 「知ることからはじめる」～パレスチナ ガザ地区ウクライナで起きていること～
 - ・造形表現学科 「造形表現学科で学んだこと」-卒業10年目のOGに聞く-
 - ・教育福祉学科 「大空へはばたこう」-障害者の脱施設をめざして-
- 10月27日(日)
- ・栄養学科、管理栄養学科、栄養科 「栄養学科・管理栄養学科・栄養科・緑窓栄養士会共催学科シンポジウム」
 - ・初等教育学科 「小学校におけるインクルーシブ教育の実態と今後の展望」
 - ・英語コミュニケーション学科 「英語教育シンポジウム」

※一部事前申し込み制。詳細は学科HP等をご確認ください。

板橋図書館

図書館学生ボランティア団体がお届けする緑苑祭イベント

開催日 10月26日(土)・27日(日)

学生ボランティア団体Library Matesは、昨年也大好評だった古本市としおりづくりワークショップを開催予定です。子どもから大人まで楽しめるイベントで、キャンパス中央にある図書館(10号館)・別館で実施します。ぜひお立ち寄りください。



EVE2024 ファッションショー

テーマ 「my as I am」

【開催詳細】

開催日 10月26日(土)・27日(日)

ショー 1st 11:15 / 2nd 13:45 / 3rd 15:00

場所 東京家政大学 板橋キャンパス
120周年記念館 1階 多目的ホール

チケット 無料、事前予約チケット、当日チケットの2種類



昨年の様子



昨年の様子

※チケットについては、服飾団体EVE公式Instagram (@tku_eve)で随時お知らせします。



@TKU_EVE

10月26日(土)、27日(日)に開催される緑苑祭にて、服飾美術学科の学生を中心としたファッションショーを企画しています。EVEとは、学生団体の名称であり、長年、学内をはじめ、入学を希望する高校生、地域の皆さま、卒業生に親しまれてきた活動になります。参加学生は、早い時期よりデザイン、制作(縫製)、演出、ヘア&メイク、広報、舞台、照明、音楽、映像、会計、記録などのグループに分かれて、学業と両立しながら準備を重ねています。他学科から参加しているメンバーとともに、学科や学年を超えたつながりを経験し、信頼関係を築き、各自に与えられた役割をこなすことで、技術面、精神面などのあらゆる面で大きな成長を遂げることができています。このような背景も含め、ご高覧いただけましたら幸いです。

(EVE学生代表：稲川、山口)

(EVE担当教員：大塚、沢尾、濱田)

ヒューマンライフ支援センター「食リンピック」

開催日 10月26日(土)・27日(日) 10:00～16:00

食育基本法が制定された平成17年から続く今や本学の伝統行事となった“食リンピック”。学生が考案した食育ゲーム(競技)を通して、食に関する疑問を解決したり、新たな興味を喚起したり、楽しみながら「食」を探究できるイベントです。今年は緑苑祭(板橋キャンパス)での開催に向けて、学生38名が6つのグループに分かれ、知恵を出し合いながら準備を進めています。緑苑祭へお越しの際はぜひ120周年記念館1階食リンピック会場にお立ち寄りください。2月には附属幼稚園での開催も予定しています。



競技についての打合せ(7月)

昨年の様子

第11回 狭山緑苑祭

(狭山キャンパス)

参加団体一覧

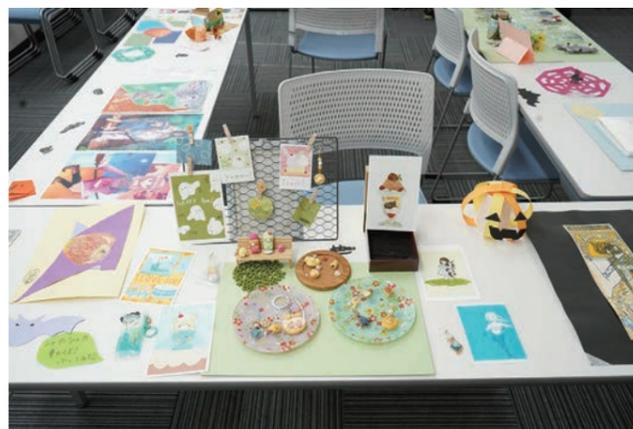
狭山同好会

- ◆音楽サークル 演奏
- ◆看護ボランティアサークル 展示・体験
- ◆造形コミュニケーション同好会 展示・販売・体験
- ◆エンターテイメントサークル 発表・演奏

有志団体

- ◆4年佐藤ゼミ 発表・演奏
- ◆3年佐藤ゼミ 発表・演奏
- ◆和田ゼミ SAYAMA 保育就職フェス
～近未来の保育について問う～ 展示・発表
- ◆文芸部 mission～ことのは～ 販売
- ◆狭山図書館 Sayama Book Friends 展示・発表

図書館学生ボランティア団体がお届けする緑苑祭イベント
学生ボランティア団体Sayama Book Friendsがしおりづくりワークショップや館内を楽しく見学できるイベントを企画中です。今年はお揃いのユニフォームの製作も進めています。



昨年の様子

開催日 2024年10月27日(日) 10:00～16:00

テーマ はじける! 楽しさ無限大!



X (旧Twitter)



instagram

本部企画

- ◆警察・消防・自衛隊 展示・体験
- ◆カラオケ大会 発表・体験
- ◆俳優トークショー 発表
- ◆お笑いライブ 発表
- ◆食品販売(フランクフルト・ポップコーン) 販売
- ◆キッチンカー・学食 販売
- ◆スタンプラリー 体験
- ◆モルック体験 体験

学科シンポジウム

10月26日(土) ※26日は学科シンポジウムの実施となります。

- ◆看護学科 「その人らしく生活するを支える看護の実践」
～活躍する卒業生たち～
- ◆子ども支援学科 「保育の魅力と保育を学ぶ魅力」
～狭山から発信する保育の真と新～

10月27日(日)

- ◆リハビリテーション学科
「女性が活躍するリハビリテーション社会の創造」
※一部事前申し込み制。詳細は学科HP等をご確認ください。

教職員・学科企画

- ◆看護学科 体験
- ◆リハビリテーション学科 展示・体験
- ◆子ども支援学科 海のプレイランド・緑日 体験
- ◆かせいの森放課後等デイサービス「つくし」 展示・発表
- ◆ジョハリの小窓 体験



昨年の様子

東京家政大学・東京家政大学短期大学部 10月以降の入試ラインナップ

入試の詳細は
HPよりご確認ください。



出願の際には必ずホームページの学生募集要項をご確認ください。

	入試方法	出願期間	試験日	合否発表
総合型選抜	知識・技能総合入試 (2期は併願制)	1期 10/1(火)～10/10(木)	10/20(日)	11/1(金)
		2期 11/1(金)～11/8(金)	11/17(日)	12/2(月)
	自主自律探究入試 ※1 ※2	2期 エントリー：12/1(日)～12/6(金) 12/19(木)～12/23(月)	2期：12/15(日)	12/26(木)
		2期 エントリー：11/15(金)～12/9(月) 12/16(月)～12/23(月)	2期：12/15(日)	12/26(木)
造形表現 体験授業入試 ※1	2期	2期：12/15(日)	12/26(木)	
	英語外部試験利用入試 (併願制)	12/2(月)～12/10(火)	※3	12/26(木)
学校推薦型 選抜	公募推薦入試 ※4	11/1(金)～11/8(金)	11/17(日)	12/2(月)
一般選抜	統一地区入試	(両試験日とも) 1/9(木)～1/21(火)	1/26(日)・27(月) 全国10地区で実施。	2/1(土)
	1期入試	1/9(木)～2/3(月)	2/6(木)	2/13(木)
	2期入試	1/9(木)～2/25(火)	2/28(金)	3/5(水)
	多面評価・共通利用入試	1/9(木)～2/25(火)	※5	3/5(水)
	大学入学共通テスト 利用入試	A日程 1/9(木)～2/5(水)	※6	A：2/13(木)
B日程 1/9(木)～3/7(金)		B：3/15(土)		

※1 受験にはエントリーが必須の入試です。

※2 造形表現学科は実施なし。看護学科は2期の実施なし。

※3 英語外部試験のスコアを使用

※4 児童学科・管理栄養学科・造形表現学科・心理カウンセリング学科は実施なし。

※5 共通テスト1科目の点数を使用

※6 共通テスト2科目(管理栄養学科のA日程、看護学科は3科目)の点数を使用

New!
2026年4月
共創デザイン学部 (仮称・構想中)
服飾美術学科
造形表現学科

**共に新たな価値を創造していく。
共創デザイン学部(仮称・構想中)、始まる。**

2026年4月に、服飾美術学科・造形表現学科の2学科は、新たな学部「共創デザイン学部(仮称・構想中)」として進化します。共創デザイン学部は、現代の多様で変化の激しい社会で主体的に活躍できる人を育てるために、「知る・学ぶ・体験する」だけでなく「創造すること」を重視。これまで両学科が培ってきた専門分野の学術的知識と伝統ある充実した実践技術を基盤に、モノづくりを超えて、作り手と人や社会が互いに影響を与えあいながら、新たな価値を創造するための学びを提供していきます。

新たな学部となるのに合わせ、共創デザイン学部では、“学びの可視化”をより推進することを目的に、どんな力が身につくのか、どんな職業を目指せるのかを、学生自身が自覚しながら成長できる仕組みを取り入れました。また、両学科の学生が、企業や地域が持つ課題に協働して取り組むPBL型授業も配置予定。コミュニケーション能力を養いながら、問題を発見し解決できる能力を培います。

共創デザイン学部は、新たな価値創造を通じた未来づくりに挑戦していきます。

詳細はHPより
ご確認ください。

※記載の内容はすべて構想中の内容であり、
変更される可能性があります。

東京家政大学附属

緑苑祭 10月26日(土)・27日(日)

テーマ「太陽のように輝け Sunshine ~オンリーワンでナンバーワン~」

今年度の緑苑祭実行委員会は、昨年度より開始時期を早めて4月27日からのスタートとなりました。例年と同じく、7月までに実行委員会が2回、参加団体説明会が2回行われました。

緑苑祭実行委員会では、クラスごとに考えたテーマ候補を

もとに、中1・中2・中3・高1・高2・高3のグループに分かれ、学年ごとに今年度のテーマを考えてもらいました。各学年からテーマ候補が出され、それをもとに中高全クラスで投票を行った結果、「太陽のように輝け Sunshine ~オンリーワンでナンバーワン~」が今年度のテーマに選ばれました。

令和6年度 緑苑祭イラストの発表

本年度の緑苑祭イラストには、全部で11作品の応募がありました。中高全生徒による投票の結果、以下の作品が1位~3位に選ばれました。

緑苑祭イラストコンクール2024 当選作品



1位 高校2年A組 R.U.さん



2位 中学2年B組 S.N.さん



3位 高校3年A組 R.T.さん
高校3年B組 T.A.さん

Tokyo Kasei Press Vol.102 学校法人渡辺学園 広報誌なでしこ 令和6(2024)年10月発行

■発行人
菅谷 定彦 (学校法人渡辺学園 理事長)

■編集責任者
岩井 絹江 (広報・宣伝部 統括)

■Tokyo Kasei Press WG 編集メンバー
川口恵美子、後藤直哉、綿貫里穂、松井渚、嶋田彩乃

■表紙デザイン
坂本 理恵

■編集・発行
学校法人 渡辺学園 広報・宣伝部
〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1
電話：03-3961-5690

■制作・印刷
上毛印刷株式会社

■広報誌なでしこ
バックナンバー



■なでしこ102号アンケートに
ご協力お願いします



次号103号は、令和7年1月発行の予定です。
掲載希望の記事がありましたら、広報・宣伝部にご連絡ください。

女子中学校・高等学校

2025年度 中高制服リニューアル!

2025年度、附属中高は制服をリニューアルします。今回のリニューアルは、高校が来年4月に節目となる第80期生を迎えるのを機に、新デザインの制服を導入することを目標としてスタートしましたが、リニューアルにあたってのポイントがいくつかあります。

その1つは、創立140年を超え、80回目の新入生を迎える女子の伝統校として、その伝統を大切にしつつ、着心地や機能性、ジェンダーレスなどの現代的な要素を満たすということです。

伝統を大切にということについては、「上品」「聡明」「爽やか」等のキーワードをもとに、冬服にはこれまで同様、濃紺スリーピースのスーツスタイルを採用しました。また、現行デザインが人気の盛夏服は部分的なデザイン変更だけで、従来のスタイルを踏襲しました。

一方、現代的な要素としての、ジェンダーレス対応については、昨年度からスラックスが導入されていますが、現行の制

服はスカート着用を前提としたデザインでしたので、新制服ではスラックスにも合うデザインを採用しています。また冬服の襟元には、リボンに加え、ネクタイも導入し、どちらか選べるようにしました。

この「選べる」ということも今回のリニューアルのポイ



ントで、オプションのチェックスカートは2種類用意しています。1つは、生徒と教職員へのアンケートで選ばれたもので、もう1つは、生徒会役員と有志によるプロジェクトチームがデザイナーのデザイン案を検討し、自分たちで決めたものです。

新制服を身にまとった新入生の姿が見られるのは、半年後になりますが、在校生は現在の制服を卒業まで着続けることができるため、しばらくの間はキャンパスに新旧の制服が混在します。「伝統」と「新風」と、それらが融合し、附属中高の新たな伝統が築かれていくことをご期待ください。



入試イベント情報

中学校入試イベント

学校説明会

- 第3回 10月12日(土)
- 第4回 11月10日(日)
- 第5回 12月15日(日)*
- 第6回 1月12日(日)

*入試体験プログラムを実施

オープンスクール

- 第4回 11月2日(土)

在校生による学校説明会

- 第2回 12月22日(日)

高等学校入試イベント

学校説明会

- 第4回 10月 6日(日)
- 第5回 11月17日(日)
- 第6回 12月 8日(日)

土曜見学会

- 10月12日(土)、11月2日(土)、11月30日(土)

*施設・授業見学、個別相談も実施

部活動体験会

- 第3回 10月19日(土)
- 第4回 11月 9日(土)

中高共通入試イベント

緑苑祭

- 10月26日(土)・27日(日)
- 10:00~16:00

*入試相談室(個別相談)も開室

詳細・お申込みは
中高WEBサイトをご確認ください。



理事長コラム〈20〉 世界を生きる

学校法人 渡辺学園理事長 菅谷 定彦

日経米州編集総局長時代⑥

米ペブルビーチは4ラウンド オーガスタは3度行きそこね

日本経済新聞の初代米州編集総局長として人的、物的両面の体制整備を固めた昭和62（1987）年4月は、5カ月間に渡るニューヨークの寒冷期が終わり、ゴルフシーズンの到来である。来客がエムパイヤーステートビル屋上やセントラルパーク、メトロポリタン美術館などを訪れた後、レストラン日本、吉兆分店での日本食を希望するのが定番コースだが、1971年から3年間の特派員時代と異なるのはゴルフプレーの希望者が増えて来たことだ。特派員の時代はこのシリーズ⑥で紹介したキセナや、マンハッタンからロングアイランド・エクスペレスウェイで1時間弱のバスページ・ブランクコース（のちにUSオープンを開催の両パブリックコースを案内したがこの2コースの欠点は現地で手続きをした後スタートまで2〜3時間待たされることだ。特派員仲間のコンペ「オフロコ」が月1回のペースで開催されたニューヨーク州のリバベルは行ってみると韓国人の「アイゴー」の大声が飛び交う中、時間待ちが1〜2時間。これではパブル景気です日本の有名コースを訪れる機会の多い来訪者を失望させるだけだ。

87年5月初旬、清泉女子大学教授をしていた妻の孝子が連休を長めにとってニューヨーク入り。早速、私のニューヨーク特派員時代にも親しくしていた山口進・米スター・マイクロニクス社長、浩子夫妻からテニスを自宅から車で20分のボニー・フライヤー・カントリークラブでいかがとの連絡が入った。浩子夫人は早稲田大学庭球部の私の同期生で女子部主将、1年上の孝子とは大の仲良しだった。マンハッタンから車で北へ40分、ソーンウッドの山口邸で落ち合い、ボニー・フライヤーで山口社長を混えダブルスを楽しんだ後「このゴルフ場は入会可能か」と山口氏に聞くと、ゴルフでも名プレーヤーで日経米州編集総局長の菅谷さんなら問題なく入れますよとの回答。

1週間後に山口社長が本人入会前にもかかわらず面接の手配をしてくれ、理事長と2人の理事から「日本人は5人目だが、ゴルフとテニスだけでなく夫人同伴のパーティなど行事にも参加して欲しい」と要請され、「妻は日本で大学教授をしているので日程的に難しいが努力はします」と答え入会金6千ドル（当時のレートで87万円）の入会次第メンバーにすると承認された。

直ちに日経東京の窓口である市岡楊一郎国際総部長、編集局の財務担当船山庄一（整理本部長と折衝、日経と私個人が3千ドルづつ負担することメンバー入りを決めた。そのゲスト第1



1974年1月 米西海岸ペブルビーチゴルフリンクス18番ホールを歩く
写真右手は海



1987年5月 NY入りした妻孝子と山口夫妻自宅前で

号はこのコラム⑥で紹介した大阪大学医学部の当時助手（のち教授）の多田彦彦君で、その後も米国での学会発表のたび計3回プレー、多くの友人、知人にもマンハッタンから車で40分のダイナミックなコースを楽しんでもらった。1989年3月の帰国に当たりクラブ側から「年会費を半分払い続けられ永久会員の資格を与える」と提案されたが、辞退した。

3年間の特派員、2年間の総局長を通して米國を代表するゴルフ場の多くでプレー出来たが、最も優れていると思ったのはカリフォルニア州・ペブルビーチにある「ペブル・ビーチ・ゴルフリンクス」である。特派員時代の最終年1973年の秋、自動車工業会のワシントン事務局長で毎日新聞の海外特派員を多く務めた小西健吉氏から「菅谷さんも私も任期終了が近いので、ゴルフ・ダイジェスト誌の調べで米国内ゴルフ場トップ10に入る、ペブルビーチを回りたい。コースに隣接したデルモンテ・ロッジに泊まればプレー出来るのでこの手続きは私がやるが、毎年1月初めのピング・クロスビー・プロアマで使われる3つのコースのうち全米ランク40位台のスパイグラスヒルはプレー可能だが、50位グループのサイプレス・ポイントにはメンバーコースなので、菅谷さんの人脈でなんとかプレー出来ないかとの電話だった。

私は仕事の日程上、ピング・クロスビー・プロアマ戦の翌週なら3泊4日で行けると即答。直ちに西海岸にも強いネットワークを持つ日本郵船の岡村俊夫常務・ニューヨーク支店長（のち本社専務）と旧知の石川芳一取締役副支店長（のち本社常務）をウォール街のオフィスに訪ね同社取引先でサイプレス・メンバーがあらればとお願ひ了解をとってもらった。その後、3泊4日でペブルビーチ4ラウンド（小西氏は3ラウンド）平均スコアは89をマーク、サイプレスポイントとスパイグラスヒルは各1ラウンドを全て男性キャディー付きの徒歩でこなすスコアは85〜92だった。

特にペブルビーチは、私が在米5年間でプレーした同じくトップ10のオリンピック・クラブ（サンフランシスコ）、バインハーストNo.2（ノースカロライナ州）、バインバレーGC（ニューヨーク州）もそれぞれに个性的かつ偉大なコースだが、名手ベン・ホーガンらが全米No.1の18番ホールと指名したペブルビーチは何度もプレーしたいと恋愛に近い感情さえ覚えた。

2021年、松山英樹選手が初優勝したマスターズ選手権開催のオーガスタ・ナショナルGC（ジョージア州）も全米ベスト10に入っているが、残念なことに、3度行きそこなった。ニューヨーク特派員時代に仲良くしていたいたたチャンピオン・ファーストナショナルシティ銀行会長からは2度「私がメンバーなので一緒に行く」と連絡があったが重要な取材と重なったため断念した。もう1回は総局長から帰国後東京編集局総務時代の1989年秋、伊藤忠商事の室伏稔副社長（翌年社長）にオーガスタへ同行プレーを要請があったが、日経常務会で長期計画の課題発表・説明と日時が重なったためこれも断わざるを得なかった。

訂正 日経ニューヨーク特派員時代⑥でファーストナショナルシティ銀行会長をチャブマンとしたのはチャンピオンの誤りでした。

※次号は「世界を生きる」

「日経米州編集総局長時代⑦」です